



栃木県立那須清峰高等学校

全
日
制



所在地 〒329-2712 那須塩原市下永田6丁目4番地
電 話 0287-36-1155
F A X 0287-37-2458
U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/nasuseiho/nc2/>
創 立 昭和36年
課 程 全日制課程
設置学科 機械科 機械制御科 電気情報科
建設工学科 商業科
生徒数 613名(男子486名 女子127名)(令和3年5月1日現在)
利用交通機関 J R 西那須野駅下車 徒歩20分
関東バス 石林入口下車 徒歩5分
大田原市営バス 清峰高前下車 徒歩1分

I 学校の概要

1 学校教育目標

「SpecialistとしてのSpirit・Sense・Mannerを有する技術者の養成」
－技術者としての心構えとたくましい実践力を養い、あわせて豊かな人間性を形成する－

2 生徒指標 「自己啓発」

3 目指す学校像

- 居がいと誇りのもてる学校
- 環境の整備された学校
- 部活動の活発な学校
- キャリア教育が充実し、個性を磨き伸ばす学校
- 保護者・地域から信頼される学校

4 募集する生徒像

本校を強く志望する生徒で、(1)から(5)までのいずれかに該当する生徒

- (1) 志望する学科をよく理解し、明確な目的意識をもった生徒
- (2) 学習や部活動などに積極的に取り組む生徒
- (3) 将来の進路への確かな知識をもち、積極的に努力する生徒
- (4) 相手を思いやり、誠意をもった行動ができる生徒
- (5) 地域産業を担い、地域社会の貢献に努めようとする生徒



冬服



夏服

II 学科の特色と各種検定や資格

1 学科の特色

学 科		学 習 内 容 と 育 成 す る 人 材 像
工	機械科	ものづくりに必要な知識・旋盤・溶接などによる工作法、コンピュータによる制御などの基礎的な知識・技能を学び、主に製造業で活躍できる人材の育成を目指しています。
	機械制御科	機械技術を中心に電気・電子や情報技術などを学び、ものづくりに携わる人材や、コンピュータを使用した工作機械やロボットの制御に携わる人材の育成を目指しています。
	電気情報科	1 年 次 電気・情報・通信に関する基礎的・基本的な知識と技能を学び、電力から制御およびネットワークに関連する諸分野の基本的な要素を身に付けます。
		電 気 コース 直流や交流の知識を基礎として、電力・電子・情報について学び、電力事業、電子機器製造、コンピュータ関連事業において、保守・製造・技術サービスなどの仕事に従事できる人材の育成を目指しています。
		情報技術コース プログラミング技術・制御技術・ネットワーク技術・マルチメディア技術に関する基礎的・基本的な知識と技能を学び、情報化時代の基盤を技術的に支える仕事に携わる人材の育成を目指しています。
業	建設工学科	1 年 次 建設分野の土木・建築に関する基礎的・基本的な知識と技術・技能を学び、将来の社会基盤を支える基本的な素養を身につけます。
		土 木 コース 土木に関する基礎的な知識・技能を学び、社会基盤を構成する土木構造物の施工、土木工事や地図作成に必要な測量に携わる人材の育成を目指しています。
		建 築 コース 建築に関する基礎的な知識・技能を学び、建築物の設計や施工をする人材の育成を目指しています。
商業	商業科	商品の生産・流通・消費に関わる経済的活動についての基礎・基本について学習するとともに、ビジネスマナーやコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を高めて、経済社会の変化に柔軟に対応できる人材の育成を目指しています。

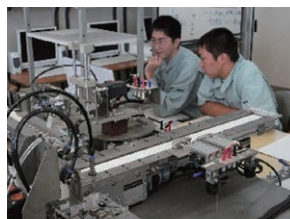
2 各種検定や資格

学 科	取 得 で き る 主 な 検 定 や 資 格
工 業	機械科 2・3級技能検定(普通旋盤・フライス盤・マシニングセンタ・機械検査) 機械製図検定 2級ボイラー技士 ガス溶接技能講習 品質管理検定(3・4級)
	機械制御科 2・3級技能検定(シーケンス制御・普通旋盤・マシニングセンタ) ガス溶接技能講習 機械製図検定 品質管理検定4級
	電気情報科 電気工事士(第一種・第二種) 工事担任者(DD第三種・AI第三種) 特殊無線技士 3級技能検定(情報配線施工・電子機器組立) 高所作業車技能講習 ITパスポート 基本情報技術者 第三種電気主任技術者認定学科(電気コース)
	建設工学科 2級土木施工管理技術検定学科試験 測量士補 建築製図検定 建築技術検定 2級建築施工管理技術検定学科試験 2・3級技能検定(大工工事作業) 色彩検定 建設業経理事務士3・4級
	共通 危険物取扱者試験 計算技術検定(2・3級) 情報技術検定(2・3級) 各種運転技能講習(フォークリフト・小型移動式クレーン・玉掛)
商 業	商業科 全商簿記実務検定 全商情報処理検定 全商英語検定 全商珠算・電卓実務検定 全商ビジネス文書検定試験 全商商業経済検定 秘書検定 日商簿記検定

3 実習風景



溶接実習
(機械科)



PLC実習
(機械制御科)



電気実習
(電気情報科：電気コース)



論理回路実習
(電気情報科：情報技術コース)



測量実習
(建設工学科：土木コース)

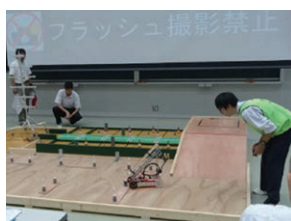


木造実習
(建設工学科：建築コース)



電卓による計算演習
(商業科)

4 競技会・コンクール



アイデアロボットコンテスト



高校生ものづくりコンテスト

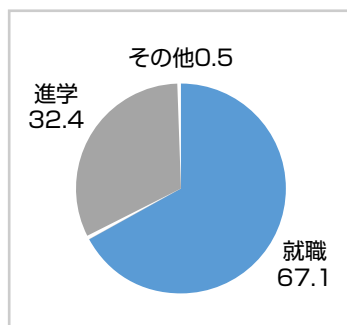


電気自動車大会



ロボットアメリカン
フットボール

Ⅲ 進路状況



本校は、インターンシップ事業やキャリア形成支援事業、職場見学などを実施し、「キャリア教育」に力を入れています。「キャリア教育」は、自己の生き方やあり方を考えさせる教育活動です。昨年度は、68%が就職、32%が進学でした。

就職については、工業・商業の専門性を生かし、県内の企業を中心に就職しています。県内外の企業から多くの求人があり、昨年度は920社、1,498名の求人がありました。就職希望者の内定率は100%を維持しています。

進学については、昨年度は4年制大学に15名が進学し、多様な希望を反映して工業や商業関連以外にも医療や美容など様々な分野に進学しました。

生徒の希望に応え、「就職も進学もできる清峰高」を目指し、より一層キャリア教育に力を入れていきます。

◆学科別進路状況 (人)		機械科	電子機械科	建設工学科	電気科	情報技術科	商業科	合計 (%)
就職	県内	23	24	19	23	19	16	124 (57.4%)
	県外	2	2	5	7	4	1	21 (9.7%)
	自営	0	0	0	0	0	0	0 (0.0%)
	小計	25	26	24	30	23	17	145 (67.1%)
進学	大学・短大	1	2	3	1	4	4	15 (6.9%)
	専修・各種	10	10	10	4	12	9	55 (25.5%)
	小計	11	12	13	5	16	13	70 (32.4%)
	在家・未定	1	0	0	0	0	0	1 (0.5%)
合 計		37	38	37	35	39	30	216 (100.0%)

◆過去3年の主な進路先

就職	アサヒグループ食品 旭有機材 天野建設 生駒組 いすゞ自動車 NTT-ME エリエールプロダクト 大阪シーリング印刷 カゴメ 川田工業 関電工 関東電気保安協会 キヤノン キヤノン電子管デバイス キヤノンメディカルシステムズ 櫻護謨 サッポロビール 山王テック ジェイ・バス 資生堂 JUKI 白河オリンパス 白河信用金庫 セイコーNPC 全業工業 大日本塗料 田淵電子工業 東京計器 東京地下鉄 東京電力 東鉄工業 東レ 栃木銀行 栃木ニコン トヨタ トヨタレンタリース 那須野農業協同組合 七浦建設 日産自動車 日本サーモスタット 日本郵便 日本貨物鉄道 浜屋組 ブリヂストン ホンダエンジニアリング 持田製薬工場 山一化学工業 山崎産業 吉野工業所 ローマイヤ YKKAP 自衛隊 消防組合 栃木県警 栃木県職員 他
進学	○私立大学・短大 足利大学 工学院大学 国際医療福祉大学 駒澤大学 作新学院大学 城西大学 千葉工業大学 千葉商科大学 筑波学院大学 帝京大学 日本工業大学 日本大学 白・大学 文星芸術大 ものつくり大学 作新学院大学女子短期大学部 他 ○専門学校・その他 宇都宮日建工科専門学校 宇都宮ビジネス電子専門学校 宇都宮メディア・アーツ専門学校 日産自動車大学校 関東職業能力開発大学校 県立県央産業技術専門学校 他

Ⅳ 特別活動などの状況

1 部活動

文化部	写真 無線 音楽 イラスト メカ コンピュータ研究 ボランティア 演劇 ビジネス 電気研究 建設研究
運動部	野球 卓球 ソフトテニス テニス 柔道 剣道 バレーボール サッカー バスケットボール 陸上競技 水泳 バドミントン
同好会	スキー 軽音楽

2 主な行事

1学期は球技大会、2学期には職場見学（1年生）やインターンシップ（2年生）、修学旅行（2年生）が実施されます。また、工業技術コンクール（3年生）が行われ、3年間で習得した専門の技術を競い合います。本校では、運動会と清峰祭（学校祭）を毎年交互に実施していますが、今年度は創立60周年記念行事が11月に開催されます。3学期は、校内課題研究発表会や予餞会などの行事が行われます。



インターンシップ事業
(建設業事業所)



インターンシップ事業
(製造業事業所)



キャリア形成支援事業
(ビジネスマナー)



運動会(綱引き)



清峰祭(模擬店)



校内課題研究発表会

V 特色選抜について

1 定員の割合

機 械 科 30%程度
建設工学科 30%程度

機械制御科 30%程度
商 業 科 30%程度

電気情報科 30%程度

2 出願するための資格要件

基本的な生活習慣及び基礎学力が身に付いており、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者

- (1) 本校の機械科、機械制御科、電気情報科、建設工学科、商業科を志望する強い動機があり、各学科に対する興味・関心を有し、入学後も意欲的に取り組むことができる者
- (2) スポーツ、文化活動、生徒会活動、ボランティア活動、資格取得などで優れた実績を有する者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
作 文	時間30分 字数400字程度

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」(第1学年～第3学年)の評定(選択教科を除く)を合計する。(135点満点)
また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを評価する。
- 3 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の80%以内にある者(ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の80%以内にある者)で、面接及び作文の評価がともに良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。